

水泳教育の原点を探る—日本泳法（水任流）から—

三木 寿人（高松市立国分寺南部小学校）

1. はじめに

- ・日本の学校現場における水泳授業の「今」
 - ①実施形態の変化、②学校プールの維持困難、③安全・気候・文化的配慮の問題、④民間化の進行
 - =「学校のプールで教員が教える水泳授業」という従来型は、制度的に転換期にある
- ・×学校教育における水泳授業を「続けるか・やめるか」を議論する
 - 水泳授業をどのような目的で、どのような制度で実施するのかを再設計することが重要
 - <4つの視点>「目的の再定義」「学校が担う範囲の再設計」
 - 「教員の労働と専門性」「学校プールという教育インフラの将来」

2. 研究の内容（研究仮説）

- ・水泳教育の原点を探る（4つの視点で検討する）には、日本古来の水泳教育からヒントが得られるのでは？
 - =水任流を教材化した授業実践や文献研究を通して、水泳教育の原点について検討することを目的に
 - （仮説①）「目的の再定義」の視点から
 - 「水任流游泳録（水府流水任游泳録）」と「小学校学習指導要領解説体育編」との関連性について検討し、それを教材化した授業実践を行うことで、水泳教育の目的の再定義ができるだろう。
 - （仮説②）「学校が担う範囲の再設計」の視点から
 - 地域人材を活かした授業実践や文献研究を行うことで、学校が担う範囲の再設計ができるだろう。

3. 研究の実際

- （仮説①について）※本授業実践の詳細については、『授業構想シート』を参照
- ・「水任流游泳録（水府流水任游泳録）」と「小学校学習指導要領解説体育編」との関連性（前回提案+α）
 - ・基本泳法を通して、「もぐる・浮く」ためのポイントへの理解を深め、様々な動きに挑戦する子どもの姿
 - ・「水任流游泳録（水府流水任游泳録）」にある技の名前から動きを想像し、水中で表現する子どもの姿
 - ・近代泳法にとらわれず、水中で「もぐる・浮く・進む」ことを楽しむ子どもの姿
 - （仮説②について）
 - ・学習指導要領の改訂（1955）による水泳授業の必修化と三位一体の協働による研修会や「式泳」の実施
 - ・模範泳法を見て驚き、近代泳法だけではない、多様な水との関わり方について考える子どもの姿
 - ・師範の助言から、水泳授業に対する意欲を高めたり、重要性への理解を深めたりする子どもや教師の姿
 - ・《参考事例》本校における低学年の安全教育「水辺の安全教室（地域連携による指導）」

4. 成果と課題

○水との多様な関わりを通して、達成感と協働の楽しさを感じられる満足度が高い水泳授業が実現できた
=水泳教育の目的の再定義（思案）

水の特性を踏まえた課題を他者と関わりながら解決する学習を通して、水中での様々な動きを習得すること

○教師だけでなく、地域人材を活用した水泳授業の有効性や可能性を実感することができた

=学校が担う範囲の再設計（思案）

教師と地域人材との連携を通して、水の特性を楽しめる学習環境をデザイン／コーディネートすること

▲多様な子どもの水泳授業における「深い学び」を確かなものにするための学習環境や教師の手立ての充実

→「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善とカリキュラム・マネジメントを推進していく必要性

▲残り2つの問い「教員の労働と専門性」「学校プールという教育インフラの将来」の解決

→水泳教育について、今後も多様な立場から、多角的・多面的に議論を深めていく必要性

→水任流伝承者の確保、大の場海岸（大の場海水浴場）の存続＝水任流泳法継承の不安材料

5. 引用参考文献

- ・（公財）日本水泳連盟「日本泳法概説」（2014）
- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説体育編」（2017）
- ・スポーツ庁「小学校体育（運動領域）指導の手引～楽しく身に付く体育の授業～」（2022）
- ・香川大学教育学部附属高松小学校「研究紀要」（2024）
- ・水任流保存会「第72回日本泳法研究会資料 水任流」（2025）
- ・中・四国小学校体育連盟「わたしたちの体育 4年」（2025）

授業構想シート【2025/5/24】

授業者 三木 寿人

水との関わりを安全に楽しめる子どもの育成 一人・もの・ことを活用した水泳授業を通してー

1 主張点

- ① 「水との関わりを安全に楽しめる子ども」とは？（本単元で育成を目指す児童の姿）
 - ・水の特性や危険性を理解し、水中での多様な運動を自ら進んで楽しむ子ども
- ② 「人・もの・ことを活用して」とは？（本単元における工夫）
 - ・様々な他者（同・異学年）や地域人材と関わり、ライフジャケット等の補助具や「水任流游泳録」を活用し、ゆめピカ（異学年交流）や「水辺の安全教室」を取り入れた単元構成を工夫する

2 本単元について

学級・教科・児童数	4年1組・体育科・38名
単元名	安全に楽しく水と関わろう！（浮いて進む運動、もぐる・浮く運動）

3 本単元の目標

- 浮いて進む運動、もぐる・浮く運動の行い方を知るとともに、け伸びや初歩的な泳ぎをすること、息を止めたり吐いたりしながらいろいろなもぐり方や浮き方をすることができるようにする。
- 自己の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- 浮いて進む運動やもぐる・浮く運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。

4 評価規準 ※参考資料「小学校体育（運動領域）指導の手引」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> □ 浮いて進む運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 □ もぐる・浮く運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 □ け伸びをしたり、浮いて呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎをしたりすることができる。 □ 呼吸を調整しながら、いろいろなもぐり方をしたり、背浮きの姿勢で浮いたり、簡単な浮き沈みをしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 □ 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 水泳運動に進んで取り組もうとしている。 □ きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 □ 用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 □ 友達の考えを認めようとしている。 □ 水泳運動の心得を守って安全を確かめている。

5 単元構成（11時間）※参考資料「小学校体育（運動領域）指導の手引」

一次 見直し	①学校で水泳授業をするのはどうして？（学習する目的の共有）※教室にて実施 ②「水遊び」をして、学習の流れを確かめよう。（レディネスと学習の流れを確認）☑水泳運動の心得に関する指導 ③高松市の無形文化財「水任流」とは？（運動教材との出会い）※教室にて実施、GT：水任流師範、社会科との関連 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 夏になると、水と関わる機会が増えるね。また、水辺での事故は毎年起きているね。安全に楽しく水と関わるにはどうすればいいのかな。昔の人たちが伝えていることや「水辺の安全教室」などをもとに考えよう。 </div>
二次 行動	④～⑦「水任流游泳録」にある技に挑戦し、できる技を増やそう。（運動教材に親しむ）☑ライフジャケットの活用 ・もぐる・浮く運動から浮いて進む運動へのスモール・ステップで取り扱う運動を設定する。 <運動例> 指導の手引：〇〇でタッチ、変身もぐり、伏し浮き、だるま浮き、変身浮き、け伸び、初歩的な泳ぎ、など 水任流游泳録：大ノ字の事、股コグリ抜けの事、仰向泳の事、目漬游の事、顔揚游の事、ベラクの事、など ★教師は、気になる児童の様子を常に把握し、必要に応じて支援・指導を行う。 ※GT：水任流師範（可能であれば） <課題解決につながる対話の例> 「〇〇（運動）ができるようになるには、お腹に力を入れる（身体感覚）といいよ／パディで動きを見合う（学習方法）といいよ」 ・荒天時などで授業ができない場合は、教室で GIGA 端末を用いた水辺の安全学習を行う。☑各サイトの活用 ⑧ライフジャケットを着て、水辺の安全について考えよう。（水辺の安全教育）※「水辺の安全教室（2年）」との関連
三次 振り返り	⑨～⑩家の人や水任流師範に、学習の成果を発表しよう。（学習のまとめ）※GT：水任流師範 ⑪単元の学習を振り返ろう。（学習の振り返り） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 水辺の危険から自分たちの命を守るために、水泳授業は大切だね。これから水辺に近づくときには、ライフジャケットなどの浮くものを必ず用意するよ。また、子どもだけではそうした場所に近づかないし、もしものときに、どうすればいいか GIGA 端末で知ることができたよ。 水の中では、もぐったり、浮いたりして、陸ではできない様々な動きをすることができてとても楽しかったよ。大切なのは、「呼吸」の仕方だね。しっかり吸って、止めていれば体が浮いてくるよ。次の学年でも頑張ろう！ </div>